

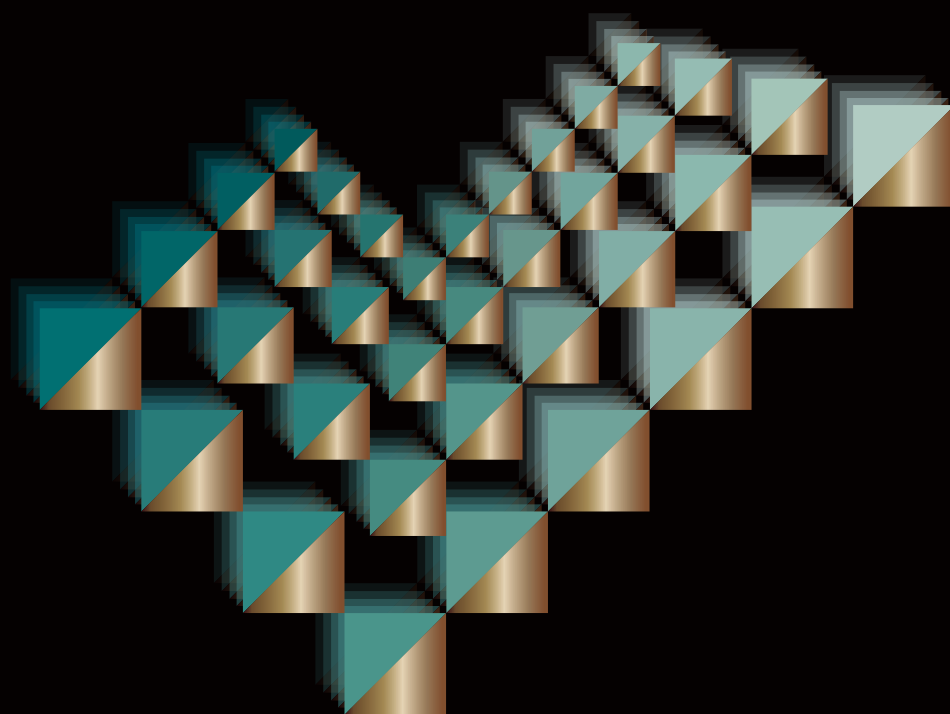
SK PREMIUM MUKI ROOF

SK
PREMIUM
SERIES



二液弱溶剤形屋根用遮熱無機塗料

エスケーププレミアム
無機ルーフ遮熱



SK PREMIUM MUKI ROOF

二液弱溶剤形屋根用遮熱無機塗料

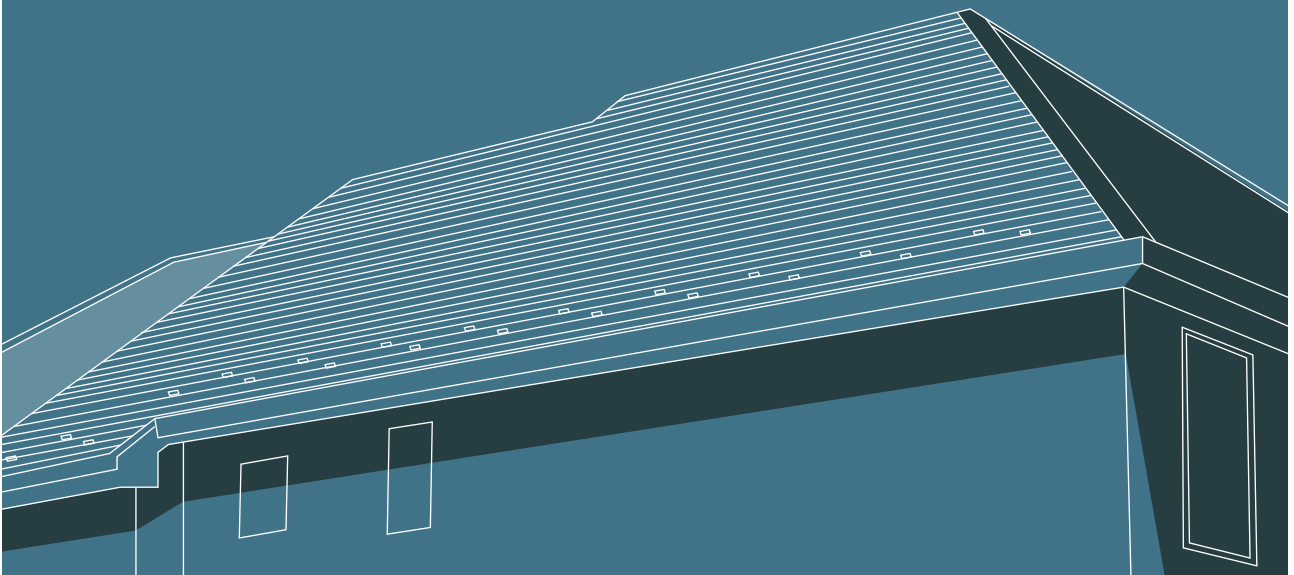
エスケーププレミアム無機ルーフ遮熱

大自然から授かった
「無機素材」の強さと



「プレミアムシリーズ」で
培った技術を活用

超耐候性と優れた遮熱機能で屋根を護る

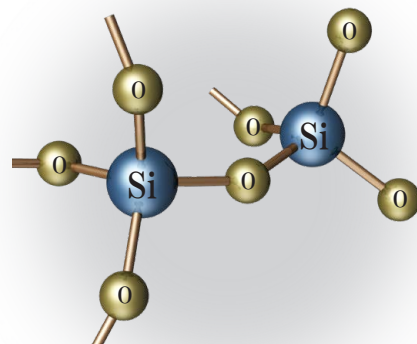


2つのメカニズムにより卓越した超耐候性を実現

超耐候性

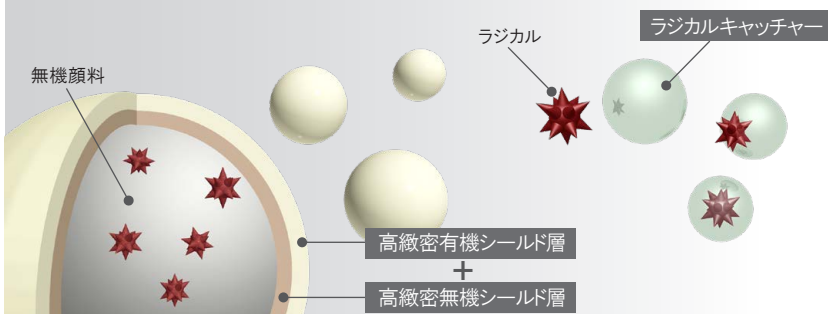
1 ハイブリッド技術による弱溶剤形無機系超耐候性樹脂

屋根は外壁と比較すると紫外線や降雨の影響を受けるため劣化が進行しやすい環境となり、塗り替えにおいても耐候性に優れた塗料が求められます。無機成分をナノレベル（分子レベル）で複合化する無機ハイブリッド技術により、無機成分の強い結合力を有するSi-Oで被覆された強靱な塗膜は、従来の弱溶剤屋根用塗料を超越する超耐候性を示します。また、無機成分の優れた剛性に加え、有機樹脂の柔軟性を併せ持った塗膜を形成するため塗り替えに最適です。さらに、彩色スレート瓦や金属屋根の下塗りを選定することで密着性に優れ、下地を長期に亘って保護するなど、種々の優れた塗膜性能を発揮します。

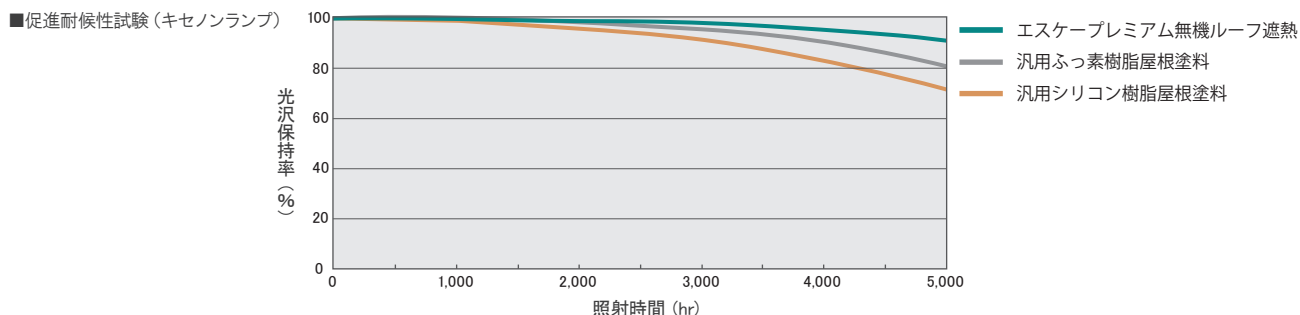


2 ラジカルコントロール技術

塗膜内に発生するラジカルを独自の高緻密無機シールド層と高緻密有機シールド層のダブルシールドで抑えます。わずかに発生したラジカルもラジカルキャッチャーが捕捉します。



促進耐候性試験(キセノンランプ法)による検証結果



近赤外線領域の光線を効果的に反射し、省エネに貢献

遮熱性

太陽光線の中で、放射熱エネルギーの強い近赤外線領域の光線を反射することで、優れた遮熱機能を発揮します。屋根面から屋内への熱の移動を低減させ、室内の温度上昇を抑制します。

遮熱性能のメカニズム

1 特殊顔料により近赤外線（熱線）領域の波長の光線を反射し、吸収する熱量を減少させます。

2 汚れの付着による遮熱効果の低下を防ぎます。優れた低汚染効果により、長期に亘り高い遮熱性能を維持することができます。

エスケーププレミアム 無機ルーフ遮熱

特殊顔料により近赤外線を高反射し、表面温度の上昇を抑制する

汎用屋根塗料

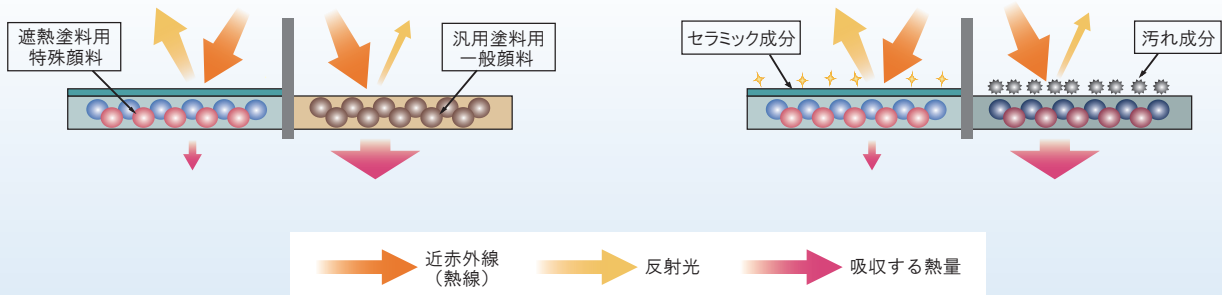
近赤外線を吸収し、表面温度が上昇する

エスケーププレミアム 無機ルーフ遮熱

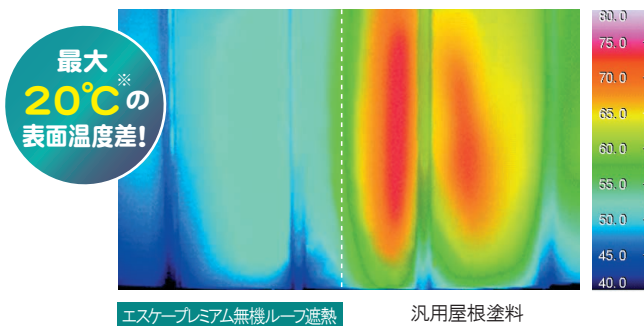
低汚染効果により遮熱性能が持続する

一般遮熱塗料

表面の汚れにより反射機能が低下し、遮熱性能が低減する



サーモグラフィー（熱画像）による温度比較

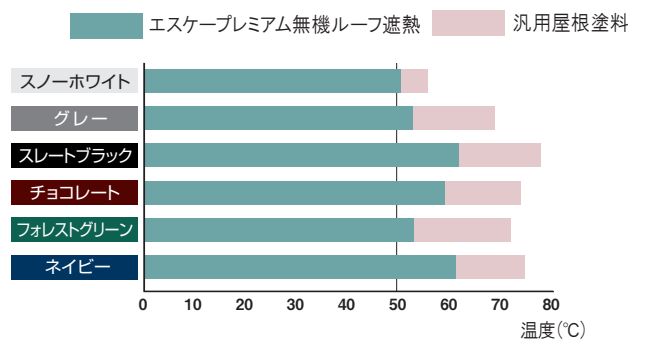


試験概要（社内法）

折板屋根を模した試験体表面に、赤外線ランプを照射し、加熱後の表面状態を観察すると、約20°Cの差を生じていることがわかります。（色：スレートブラック）

※社内試験の結果によるものです。色目、地域性、方向等により異なります。

色相別の遮熱性能比較



試験概要（社内法）

アルミ板に各塗料を塗付したものを試験体とし、屋外南面 45 度の角度で設置し、試験時間中、1時間ごとに表面温度を測定した平均値を算出。（試験は、8月下旬の11時～15時）

低汚染性（遮熱性能の持続）

屋根面では塵埃などの汚れが堆積するため、汚れ易い環境下にあります。エスケーププレミアム無機ルーフ遮熱は緻密で強靭な無機系塗膜と、汚れを降雨で洗い流す親水性の表面効果により、優れた低汚染性を発揮します。汚れの付着による遮熱効果の低下を防ぎ、長期に亘って高い遮熱性を維持することができます。

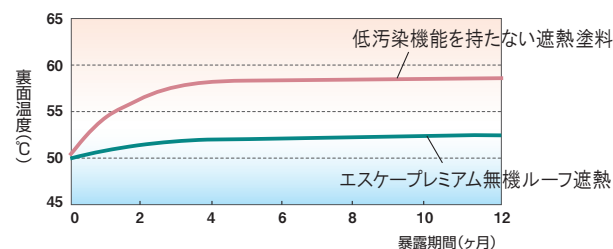
■ 屋外暴露試験（雨筋汚染、6ヵ月）の比較



エスケーププレミアム無機ルーフ遮熱

汎用屋根塗料

■ 遮熱機能の持続性



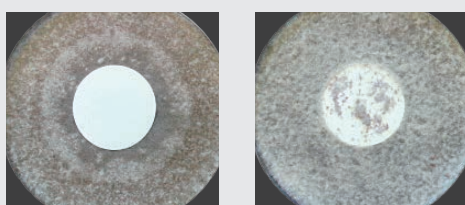
試験概要（社内法）

試験体を屋外暴露により経時汚染させた後、赤外線ランプ照射を行い、試験体裏面温度を計測した。（色：グレー系）

防かび・防藻性

汚れが堆積する屋根は、かびや藻などの微生物汚染が発生しやすい環境でもあります。エスケーププレミアム無機ルーフ遮熱は、特殊設計により微生物汚染に対して強い抵抗性を示します。

■ 防かび性の比較



エスケーププレミアム無機ルーフ遮熱

汎用屋根塗料

■ 防藻性の比較



エスケーププレミアム無機ルーフ遮熱

汎用屋根塗料

仕上がり性

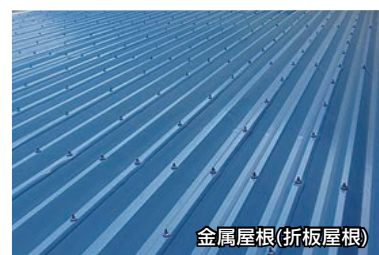
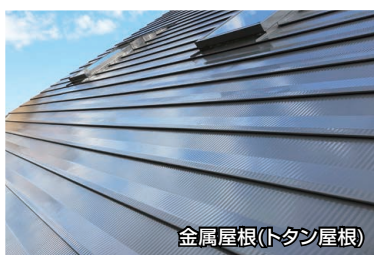
平滑で高光沢の仕上がり性を提供します。

環境対応

溶剤系（強溶剤）塗料に比べて臭気が少なく作業環境の改善に役立ちます。

適用下地

屋根の種類は様々ですが、コロンアル・カラーベストなどの彩色スレート瓦だけでなく、乾式洋瓦・セメント瓦（モニエル瓦^{※1}など）・金属屋根にも使用できます。



※1. モニエル瓦の場合は、脆弱なスラリー層などを十分に除去してください。
※2. 陶器瓦にはご使用いただけません。



◎屋根用標準色 遮熱グレード



各色の遮熱効果は、遮熱グレードでご確認ください。一般に、日射反射率が高いほど、遮熱効果も高くなります。外壁の色との調和、周辺環境との調和を考慮し、お選びください。

注. 遮熱グレードは、「JIS K 5602 塗膜の日射反射率の求め方」に準拠して測定した日射反射率(近赤外線域)を基にしています。なお、日射反射率は、下地の状態や施工環境、塗装仕様によって多少の差を生じます。

● 同じ色で比較した場合、エスケープレミアム無機ルーフ遮熱は、一般屋根用塗料よりも遮熱性能に優れています(日射反射率が高い)。ただし、明度が低い色ほど日射反射率の差が大きく、明度が高い色(★印の色など)ほど差が小さくなりますので、色選びの際には注意が必要です。

荷 姿

★エスケープレミアム無機ルーフ遮熱 (艶の種類：艶有り・3分)	15 kgセット (主剤 12.5kg/ 硬化剤 2.5kg) コロニアル：(標準塗坪 50～57 m ² /セット) トタン：(標準塗坪 53～68 m ² /セット) 3.6 kgセット (主剤 3.0kg/ 硬化剤 0.6kg) コロニアル：(標準塗坪 12～13 m ² /セット) トタン：(標準塗坪 12～16 m ² /セット)
★マイルドシーラーEPOホワイト	14 kgセット (主剤 10.5kg/ 硬化剤 3.5kg) (標準塗坪 56～93 m ² /セット)
★スーパーボーセイエポ (シロ)	16 kgセット (主剤 14.4kg/ 硬化剤 1.6kg) (標準塗坪 80～114 m ² /セット) 4 kgセット (主剤 3.6kg/ 硬化剤 0.4kg) (標準塗坪 20～28 m ² /セット)
★塗料用シンナー A	16ℓ石油缶

注) 上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

用 途

戸建て住宅、アパート、工場等の建築物の勾配屋根
(彩色スレート瓦・スレート屋根・金属屋根・トタン屋根) 等

※彩色スレート瓦・スレート屋根の場合、基材自体の強度低下が著しく、塗装できない場合もありますのでご注意ください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

危険情報と安全対策

製品の取り扱いにはそれぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。

特に★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご確認ください。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。



標準施工仕様

■彩色スレート瓦(コロニアル・カラーベストなど)・スレート屋根改修仕様

(23℃)

工程	材料	調合(重量比)	所要量(kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
※1.2.3.4 下地調整	●高圧水洗(10~15MPa)で、ごみや汚れ、こげ、劣化塗膜(浮き、膨れ、割れ)などを除去してください。 ●高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわしなどで表面に付着したごみや汚れ、こげ、劣化塗膜などを除去してください。							
※5 乾燥	●水洗後は、十分に乾燥を行ってください。 ●下地が雨や結露で濡れている場合は、十分に乾燥を行ってください。							
※6.7.8.9 1 下塗り	マイルドシーラー-EPOホワイト 主剤	100	0.15~0.25	1~2	3以上	3以上 7日以内	-	ローラー、刷毛 エアレスプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	マイルドシーラー-EPO 硬化剤	33.3						
※8.12.13 2 上塗り	エスケープレミアム無機ルーフ遮熱 主剤	100	0.26~0.30	2	3以上 7日以内	-	24以上	ローラー、刷毛 エアレスプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	エスケープレミアム無機ルーフ 硬化剤	20						
	塗料用シンナー A	0~20 ※11	-	-	-	-	-	-
3 縁切り ※14	水切り部などで上下の瓦が材料で接着した箇所は、皮スキなどで縁切りを行ってください。							

●金属屋根・トタン屋根改修仕様

(23℃)

工程	材料	調合(重量比)	所要量(kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
注1 下地調整	●ディスクサンダー、ワイヤーブラシなどで、さびを完全に除去してください。 ●高圧水洗で浮き、劣化塗膜(浮き、膨れ、割れ)などを完全に除去した後、乾燥させてください。 ●ゴミ、油、汚れなどを完全に除去し、清浄な面としてください。							
※5 乾燥	●水洗後は、十分に乾燥を行ってください。 ●下地が雨や結露で濡れている場合は、十分に乾燥を行ってください。							
注2.3.4 ※8.12 1 下塗り	スーパーボーセイエポ(シロ) 主剤	100	0.14~0.20	1	-	6以上 14日以内	-	ローラー、刷毛 エアレスプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	スーパーボーセイエポ 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナー A	0~10 ※10	-	-	-	-	-	-
※8.12.13 2 上塗り	エスケープレミアム無機ルーフ遮熱 主剤	100	0.22~0.28	2	3以上 7日以内	-	24以上	ローラー、刷毛 エアレスプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	エスケープレミアム無機ルーフ 硬化剤	20						
	塗料用シンナー A	0~20 ※11	-	-	-	-	-	-

- 注1. 塗り替えでは、必ず高圧水洗またはブラシによる水洗いを行ってください。これが不十分な場合、光沢のある仕上がりが得られなかったり、経年後、塗膜の膨れ・剥がれなどの原因になることがあります。また、金属露出部がある場合は発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取ってください。水洗時は滑りやすくなるため、安全には十分ご注意ください。
- 注2. この他下塗材として、★SKマイルドボーセイ(色:シロ、16kgセット)、★クールタイトプライマー(色:シロ、16kgセット、4kgセット)もご使用いただけます。
- 注3. 下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合(全面に塗膜の剥がれが見られる場合や水洗後の付着強さが0.5N/mm²以下、またはガムテープによるクロスカットテーピング試験で剥離が見られる場合など)、腐食が進行している場合(赤さびが発生している場合)、過酷な環境条件下及び耐久性を必要とする場合は、脆弱塗膜を全て除去した後、★ミラクボーセイM(色:シロ、18kgセット、4kgセット)をご使用ください。
- 注4. 作業環境や形状によってさびを完全に除去できない部位には、下塗材を塗装する前に、予め★サビフィックス(18kgセット、4.5kgセット)で補修塗りを行ってください。

- ※1. 必ず高圧水洗またはデッキブラシ、たわしによる水洗いにより、ごみや汚れ、こげ、劣化塗膜(浮き、膨れ、割れ)の除去を行ってください。特に瓦の重なり部分は、入念にワイヤーブラシを用いて除去してください。これらが不十分であれば均一な仕上がりが得られなかったり、経年後、塗膜の膨れ、剥がれなどの原因となることがあります。また脆弱な旧塗膜は完全に除去してください。
- ※2. 基材自体の反りや割れ、剥がれなど強度低下が著しく、塗装できない場合がありますので、ご注意ください。
- ※3. コミやほこり、砂、樹液などの汚染要因は、予め塗装前に水洗い等で十分に除去した後、さらに十分に乾燥させ、清浄な面としてください。
- ※4. 水洗時は滑りやすくなるため、安全には十分ご注意ください。
- ※5. 水洗後や、降雨、降雪後の乾燥を十分に行ってください。乾燥が不十分な場合、密着性が低下し、塗膜の膨れ、剥がれなどの原因となることがあります。
- ※6. 下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合(全面に塗膜の剥がれが見られる場合や水洗後の付着強さが0.5N/mm²以下、またはガムテープによるクロスカットテーピング試験で剥離が見られる場合など)は、脆弱塗膜を全て除去した後、下塗りを塗付する前に、★エスケープ強化シーラー(15kgセット)、または★ミラクシーラー-EPO(15kgセット、6kgセット)を塗付してください。
- ※7. 希釈しますと付着低下や性能低下の原因となりますので、絶対に希釈しないでください。
- ※8. 下塗材、上塗材の所要量は、下地の劣化状況や形状により増減する場合があります。
- ※9. この他下塗材として、★エスケープイブリットシーラー-EPOホワイト(15kgセット)も使用いただけます。ただし下地の劣化状況によっては適用できない場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※10. ★スーパーボーセイエポ(シロ)の★塗料用シンナーAでの希釈率は、主剤100に対して、スプレー塗り時で「5~10」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。
- ※11. ★エスケープレミアム無機ルーフ遮熱の★塗料用シンナーAでの希釈率は、主剤100に対して、スプレー塗り時で「10~20」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。
- ※12. ★塗料用シンナーAで希釈する製品については、★塗料用シンナーAの他、★塗料用シンナーXもご使用いただけます。ただし、その他の材料の使用は避けてください。
- ※13. 上塗材の希釈率は、試験施工などにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- ※14. 瓦の上下に隙間がなければ、結露水の通気が不十分となり、素材の腐食・漏水の原因になる場合があります。
- ※15. 艶調製品(艶有り以外の3分)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗筆が箇所を艶むらを生じやすい傾向があります。試験施工により確認の上、本施工に入ってください。
- ※16. 可使時間は5時間(23℃)です。可使時間を越えた材料は下地への浸透性や下地強化能力を含めた物性低下の原因となるため、使用しないでください。
- ※17. 改修工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を厚し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試験施工により確認の上、本施工に入ってください。
- ※18. 金属露出部がある場合には、発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取ってください。寒冷地や冬期に施工する場合は、朝露や結露の発生に注意してください。
- ※19. トタン下地が見えている所や、さびの生じている箇所は、ケレン後必ずさび止め塗料を塗装してください。
- ※20. 波型タンの山部分や、トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は膜厚が薄くなりがちです。先に拾い塗りすることをお勧めします。
- ※21. 積雪の影響を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部はこすりつけるように増し塗りを行ってください。
- ※22. 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび、防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- ※23. かびや藻が付着している場合は、「SKKカビ除去剤#5(塩素系)」にて拭き取るなど、適切な下地処理してから塗装してください。
- ※24. 乾燥過程で、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、割れ、白化、しみ、艶引けの発生につながる場合があります。特に山間部等の結露しやすい地域や昼夜の寒暖差の大きい時期は乾燥時間を確保するようにしてください。(原則として午前9時~午後3時が推奨施工時間帯です。)
- ※25. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ※26. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- ※27. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ※28. 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ※29. 補修塗りの際、仕上がりの違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がりを確認した上で希釈量等を決定してください。
- ※30. 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗り、仕上がりの違いにより、色目に若干の差を生じる場合があります。
- ※31. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ※32. 夏場など下地が高温時(50℃以上)に施工すると、発泡、泡かみの原因となりますので、施工を避けてください。(原則として午前9時~午後3時が推奨施工時間帯です。)
- ※34. 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- ※35. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。



エスケープ化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂3-5-25 ☎072-621-7733
東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727
札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 北陸支店 ☎076-266-1041 大阪支店 ☎072-621-7721 高松支店 ☎087-865-5411
仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎049-686-2391 名古屋支店 ☎052-561-7712 神戸支店 ☎078-671-0451 福岡支店 ☎092-629-3427
東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400 京都支店 ☎075-646-3967 広島支店 ☎082-943-5043
大規模工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>



特約販売店